

# 令和5年度第1回 健康いわき推進会議



いわき市健康づくり推進課



1. 開会
2. あいさつ
3. 議事
  - (1) 第21回健康いわき21推進市民大会の開催結果について
  - (2) 令和4年度健康推進企業普及部会の開催結果について
  - (3) 令和5年度健康づくり事業について
  - (4) 「健康いわき21(第三次)」の策定について
4. 意見交換  
「市民の健康課題について」
5. その他
6. 閉会



## 2. あいさつ

会長  
いわき市長 内田 広之



# 3(1) 第21回健康いわき21推進市民大会の開催結果について



日時	令和5年2月4日(土) 14:00~16:30
場所	いわき市文化センター 大ホール・大講義室等
来場数	①式典・講演会等の部:116名 ②健康づくりブース:延べ179名
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 式典の部           <ul style="list-style-type: none"> <li>表彰・感謝状贈呈               <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健衛生功労者表彰:47名</li> <li>・市シルバーリハビリ体操指導者表彰:14名</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2. 講演等の部           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 運動ワークショップ 「シルバーリハビリ体操実演」</li> <li>(2) 食育講演会 「いま大切なこと 食の積み重ねで健康(健幸)に」</li> </ol> </li> <li>3. 健康づくりブース           <ul style="list-style-type: none"> <li>・減塩食普及プロジェクト「いわきひとしお」PRブース</li> <li>・健康測定会ブース</li> <li>・フレイル予防強化月間PRブース 等</li> </ul> </li> </ol>





### 3(2) 第1回健康推進企業普及部会の開催結果について①



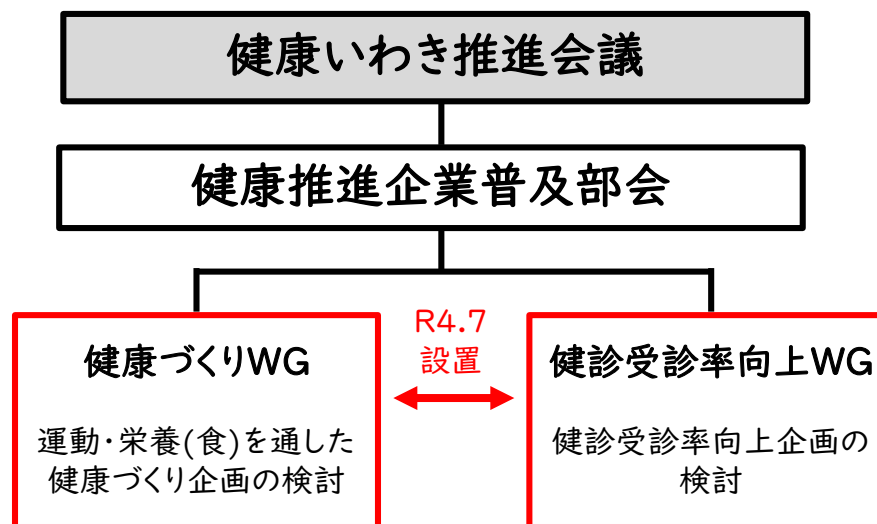
開催日時

- 健康推進企業普及部会
  - ① 令和4年7月26日(火)
  - ② 令和5年1月24日(火)
- ワーキンググループ会議
  - ① 令和4年7月26日(火)
  - ② // 10月 4日(火)
  - ③ // 12月19日(月)

ワーキング  
グループ  
検討  
テーマ

- ①健康づくりワーキンググループ
  - 【テーマ1】  
『減塩食』の普及促進について
  - 【テーマ2】  
企業との連携による従業員(壮年期)の健康づくりについて
- ②健診受診率向上ワーキンググループ
  - 【テーマ3】  
個人事業主の国保加入者への受診勧奨方法について
  - 【テーマ4】  
社会保険被扶養者への受診勧奨方法について

ワーキンググループの設置





### ワーキンググループの開催結果まとめ

#### 01 『減塩食』の普及促進について

- 「減塩でも美味しい」という認識を高めていく必要がある。
- 「選択できる環境づくり」、「意識しなくても減塩になっている環境づくり」に向け、官民が連携し、継続して(草の根活動)取り組むことが重要。

##### 取組の方向性

- 減塩商品やレシピの開発
- スーパーや食品メーカーとの連携
- 学校給食での減塩献立の提供
- 情報発信の強化

#### 02 企業との連携による従業員(壮年期)の健康づくりについて

- 「企業側の意識変化」「仲間(同僚)で楽しく参加」を意識し、継続的な取組みにつなげる。
- ゲーム感覚など気軽に参加できる環境から、意識・行動の変化につなげることが重要。
- 企業連携で壮年期の健康づくりや健康経営の推進につなげる。

##### 取組の方向性

- 企業向け健康プログラムの実施(2~3ヶ月)
- アウトリーチ型ヘルスケア講座の実施(運動・食・健康測定)
- いわきFCホームゲームでの連携企画の実施

#### 03 個人事業主の国保加入者への受診勧奨方法について

- 情報発信は様々な手法、関係機関のネットワークを最大限用し、積極的・継続的に取り組むことが重要
- ナッジ理論などより、情報発信媒体の内容を工夫する必要がある。

##### 取組の方向性

- 企業と連携した情報発信
- 商工会議所や商工会との連携による情報発信
- かかりつけ医からの受診勧奨(いわき市医師会との連携)

#### 04 社会保険被扶養者への受診勧奨方法について

- 働き世代の市民の多くが、協会けんぽに加入していることから、協会けんぽと連携した取組みを進める必要がある。
- 保険加入者のみならず、被保険者の健診受診率向上等につなげるため、情報発信について継続的に検討する。

##### 取組の方向性

- 協会けんぽ福島支部、福島県保健衛生協会と連携した取組みの検討・実施による情報発信



# 3(3) 令和5年度健康づくり事業について①[事業全体概要]



## 青年期

## 壮年期

## 高齢期

保険者・企業等に働きかける取組み・地域(面的)に実施する取組み

意識を変える

### I-① いわきっ子生活習慣病予防健診

【継続】 R2年度～  
 【対象】 モデル中学校2年生：**247**名  
**12**校（保護者同意）  
 【内容】 生活習慣等アンケート、  
 脂質及び血糖検査（総コレステロール、  
 HDLコレステロール、中性脂肪、HbA1c）  
 生活習慣病予防学習（健康教育授業）  
 生活習慣指導 等

### I-② 各種健康診査の受診率向上対策【継続】

【対象】 健康診査・国保特定健康診査・がん検診などの受診対象者  
 【内容】 受診勧奨として対象者に「受診券」を郵送  
 → 従来対象者以外の方（40～70歳の5歳刻み）を追加  
 未受診者に対し電話やA I等を活用した受診再勧奨を実施  
 → 未受診者の特性に応じた効果的な再勧奨  
 受診の必要性和受診対象者への広報強化  
 → 健康いわき推進会議・健康推進企業普及部会との連携

集団けんしんの予約制導入【継続】  
 完全予約制にすることで、待ち時間の短縮、受診録や尿検査容器などの事前送付により受診率向上を図る。  
 （特定）健康診査と肺・胃・大腸がん検診の同日実施のほか、乳・子宮頸がん検診も同日に受診できる日を新たに設けた。



### I-③ 情報発信「いわきの極意」（共に創る健康づくり推進事業①）【継続】 【対象】 全市民

【内容】 ポータルサイト、SNS、紙媒体など、**多様な媒体で健康に関する情報を広く発信**  
 食事（栄養）、運動、けんしんをはじめとする健康に関する様々な情報の発信

行動を変える

### II-① いわき健康チャレンジ事業 【継続】 H29年度～ 【対象】 18歳以上

【内容】 運動や食事など健康行動に取り組み、基準達成で特典（専用紙台紙、携帯用アプリにより実施）

減塩・運動

### II-② 健康経営推進ヘルスケアサポート事業【新規】

【対象】 市内企業従業員や市内団体等  
 【内容】 民間企業と共創し従業員の健康づくりをサポート  
 ①スマートヘルスケアプログラム  
 ②ヘルスケア講座(運動・健康講話)

企業共創 減塩・運動

### II-③ 国保特定保健指導 【継続】

【対象】 国保特定保健指導の基準該当者  
 【内容】 メタボ改善のための支援

減塩・運動

### II-④ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

【継続】 後期高齢者医療広域連合の受託事業R3年度～  
 【対象】 高齢者（10圏域）  
 【内容】 低栄養や疾病の重症化予防の訪問指導  
 介護予防事業と連携した健康教育・相談  
 ※ハイリスクアプローチ（生活習慣病重症化予防）  
 ※ポピュレーションアプローチ（通いの場等）

企業共創 減塩・運動

### II-⑤ スポーツによるスマートライフ推進事業【継続】

【対象】 全市民 【内容】 いわきFCと連携した健康プログラム（筋トレ・ダイエットコース等）

### II-⑥ からだがみえる66おでかけ測定会【継続】

【対象】 企業、団体、イベント等 【内容】 測定メニュー（血圧、血管年齢、フレイル判定、内臓脂肪、簡易血糖、健康相談 等）

### II-⑦ 健康づくりサポートセンター事業（いわきゆったり館内）【継続】 R2年度～

【対象】 18歳以上（高校生除く） 【内容】 運動器具等による運動プログラム等や運動・栄養・健康相談を一体的に実施

減塩・運動

環境を変える

### III-① 減塩食普及プロジェクト「いわきひとしお」（共に創る健康づくり推進事業②）

【対象】 全市民 【内容】 市民の「高血圧」の予防・改善に向けた減塩商品やレシピの開発、減塩食の普及に向けた啓発活動 等

企業共創 減塩

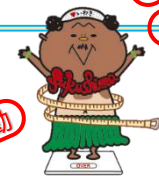
### III-② ヘルスケアプロジェクト「いわきの極意」（共に創る健康づくり推進事業③）

【継続】 壮年期を中心とした全世代 【内容】 YouTubeチャンネル「いわきの極意」での運動習慣エクササイズ等の動画配信

### III-③ ヘルスケアアプリ「HELPO」【継続】

【対象】 子育て世代等 【内容】 チャット型オンライン健康相談、病院検索、特定保健指導等

企業共創 減塩・運動



健康いわき推進会議・健康推進企業普及部会との協働によるライフステージに応じた“共に創る”健康づくりの推進

市民の誰もが健康で百歳をむかえられる地域社会の実現



## 健康経営推進ヘルスケアサポート事業

新規

壮年期等の働き世代の健康づくりや企業の健康経営の推進に向け、  
企業と連携した健康プログラムの実施

### Project1 スマートヘルスケアプログラム

- ▶ 企業等が有するヘルスケアプログラムを、公募によって選定された市内企業において、一定期間(2~4ヶ月)実施する。
- ▶ スマートデバイスを活用し身体データの可視化・分析等を行う。



### Project2 ヘルスケア講座

- ▶ 運動・栄養等の専門講師の講座をアウトローチ型で実施
- ▶ YouTube「いわきの極意」出演講師等による講座開設







## 減塩食普及プロジェクト「いわきひとしお」

継続・拡充

### Project1 減塩商品・レシピ開発

地場産品を活用したおいしい減塩食づくり

- ▶ 減塩商品の企画販売やレシピの開発
- ▶ おいしい“減塩食”を食卓に上げるための取組み

### Project2 官民連携企画の実施

スーパーや食品メーカー等との連携による減塩企画

- ▶ スーパーでの減塩コーナー設置や情報発信等
- ▶ 食品メーカーと連携した減塩食の普及啓発活動
- ▶ 市内飲食店・社員食堂等と連携した減塩食の提供

### Project3 ブランディング・情報発信の強化

減塩食への興味喚起・行動変容につなげる減塩企画

- ▶ 毎月17日の「いわきひとしおの日」に合わせた減塩企画
- ▶ 学校給食での減塩献立提供や情報発信
- ▶ 紙媒体やSNS等を活用した幅広い世代への情報発信

#### 減塩食の企画販売

《令和4年度》  
 マルト“ふくふくデリ”との連携



#### スーパー×食品メーカー

○マルト×味の素との連携  
 ○イオン×味の素との連携【予定】



#### 市役所8階食堂での“減塩ランチ”提供！

味の素提供レシピによる  
 減塩ランチ2種の提供



#### 学校給食での減塩

○減塩献立の提供  
 ○減塩に関する情報発信





### 3(4) 「健康いわき21」の改定に向けた取組みについて



令和4年度

令和5年度

済

01

市民アンケート  
調査

02

健康課題の  
整理

03

計画素案  
策定

04

計画策定

● ライフステージ別調査

- ・乳幼児期
- ・青年期
- ・壮年期
- ・高齢期 計6,500件
- ➔ 第二次計画の検証

※別紙「概要版」参照

● 企業アンケート調査

- ➔ 企業の健康づくり  
取組状況の把握等

● アンケート調査結果の  
詳細分析

世代別×エリア 等

● 国縣市健康データの  
収集・分析

● 健康いわき推進会議  
からの意見抽出 等

● 食育推進計画を統合  
した一体的な策定検討

● 基本方針や重点  
プロジェクトの検討・設定

● 骨子案策定

● 健康いわき推進会議  
での審議

● パブリックコメント

● 推進体制の整備

● 計画の情報発信

● 重点プロジェクトの  
推進

↓  
令和6年4月より  
計画期間開始

## テーマ「市民の健康課題について」

市民アンケート調査結果を踏まえ、

### 『市民の健康課題』

をテーマに、様々な視点から、皆様のご意見をお聞かせください。

※ 「健康いわき21(第三次)」策定に関するご意見・ご要望などあればお聞かせください。



## 1. 健康推進企業普及部会

令和5年度は2回(7月・1月)開催予定

※ ワーキンググループは適宜開催予定。

## 2. 令和5年度第2回健康いわき推進会議

令和5年11月頃開催予定

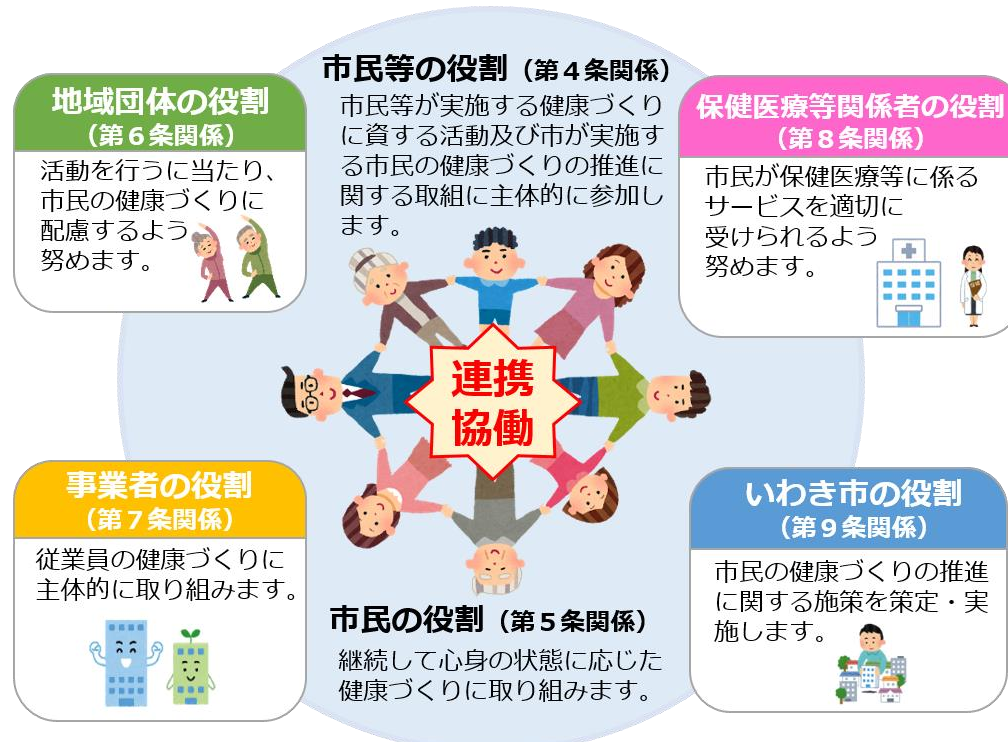
※ 「健康いわき21」の策定状況により、

第3回の開催可能性もあります。



<p>目的</p>	<p>全ての市民が生涯にわたり心身ともに健康で生き生きと生活ができる健康長寿社会の実現に寄与することを目的とする。</p>
<p>基本理念</p>	<p>～市民の健康づくり～ 市民、地域団体、事業者、保健医療等関係者、及びいわき市が共に創ること。</p> <p>～市民の健康づくりの推進～ ○市民等のそれぞれが健康づくりに関する関心及び必要な知識を持ち、自らの心身の状態に応じた健康づくりに生涯にわたって主体的に取り組むこと。 ○市民の健康に関わる社会環境の整備及び向上に取り組むこと。 ○市民等及び市が相互に連携し、及び協力すること。</p>

## 各主体の役割





## 「いわき市共に創る健康づくり推進条例」に基づき、官民連携の健康づくり推進体制を構築

	健康いわき推進会議	健康推進企業普及部会
設置年月	令和元年8月	令和2年2月
目的	市民の健康づくりの推進に関する調査審議を行うもの。	健康いわき推進会議の部会として設置し、関係機関・団体等が連携し、健康経営及び地域や消費者の健康づくり活動を積極的に行おうとする企業等の取組みを推進し、普及拡大を図ることを目的とする。
委員数・構成	20名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学識経験を有する者</li> <li>・保健医療等関係者</li> <li>・関係行政機関の職員</li> <li>・その他市長が必要と認める者</li> </ul>	16名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学識経験者</li> <li>・商工団体関係者</li> <li>・保険者関係者</li> <li>・保健衛生関係者</li> <li>・地域活性化包括連携協定締結（健康増進・食育に関すること）団体関係者</li> <li>・行政機関等関係者</li> <li>・その他必要があると認められる団体関係者</li> </ul>
開催頻度	年2回程度	年2回程度 ※令和4年度からは、必要に応じて、ワーキンググループを設置するため、+α開催予定。



# 【参考】健康いわき推進会議構成員名簿



令和5年4月19日時点

## 健康いわき推進会議

No.	団体名	役職
1	いわき市	市長
2	医療創生大学	特任教授
3	東日本国際大学	学長
4	一般社団法人いわき市医師会	会長
5	一般社団法人いわき市病院協議会	代表理事
6	一般社団法人いわき市歯科医師会	会長
7	一般社団法人いわき市薬剤師会	会長
8	福島県国民健康保険団体連合会	常務理事
9	全国健康保険協会福島支部 (協会けんぽ)	保健グループ長
10	いわき商工会議所	会頭
11	いわき地区商工会連絡協議会	会長
12	公益財団法人福島県保健衛生協会 いわき地区センター	所長
13	いわき健康管理センター	事務長
14	いわき市健康推進員協議会	会長
15	公益社団法人福島県栄養士会いわき支部	企画運営委員長
16	社会福祉法人いわき市社会福祉協議会	会長
17	いわき市民生児童委員協議会	会長
18	いわき市体育協会	会長
19	いわき市PTA連絡協議会	会長
20	いわき労働基準監督署	安全衛生課長

## 健康推進企業普及部会

No.	区分	団体名	
1	学識経験者	医療創生大学	
2		東日本国際大学	
3	商工団体	いわき商工会議所	
4		いわき地区商工会連絡協議会	
5	保険者 関係団体	全国健康保険協会福島支部(協会けんぽ)	
6	保健衛生 関係団体	福島県栄養士会いわき支部	
7	地域活性化包括連 携協定締結団体 (健康増進・食育に 関すること)	株式会社 マルト商事	
8		イオンモール株式会社 イオンモールいわき小名浜	
9		イオンリテール株式会社 イオンスタイルいわき小名浜	
10		イオン東北株式会社 イオンいわき店	
11		株式会社 セブン-イレブン・ジャパン	
12		大塚製薬株式会社仙台支店	
13		第一生命保険株式会社	
14		明治安田生命保険相互会社 いわき支社	
15		株式会社いわきスポーツクラブ	
16		行政機関等	いわき市保健福祉部